

「2015年(平成27年)1月から2015年(平成27年)12月の期間に、淳風会健康管理センターで健診・人間ドックを受けられた皆さまへのお知らせ」

研究名：腫瘍マーカー検査を実施した健診・人間ドック受診者における悪性疾患の有無に関する後ろ向き検討

2015年(平成27年)1月から2015年(平成27年)12月の期間に、淳風会健康管理センターで健診・人間ドックを受けられた方々を対象として、腫瘍マーカー検査に関する観察研究を実施することとし、淳風会健康管理センター臨床研究審査委員会より承認を得ました。

オプション検査として血清腫瘍マーカー（CEA、CA19-9、SCC、AFP、PSA、シフラ、CA-125、NSE、DUPAN-II）を測定した方々を対象として、健診・人間ドックの記録と大供クリニック・旭ヶ丘病院のカルテの既存資料を用いて、性・年齢、悪性腫瘍の有無を検討させていただきます。

本研究は、健診・人間ドックにおける血清腫瘍マーカー測定の有用性と問題点を明らかにすることを目的としています。本研究は、健診・人間ドック記録の既存資料のみを収集する観察研究であり、対象となる方々の個人情報をご省いた状態で解析します。したがって、本研究のための新たな人体試料の採取は必要なく、対象となる方々の個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。しかし、本研究の対象となる方々には、ご自身に関するデータの発表の機会を拒否することができます。本研究への不参加を希望される方は研究代表者にご連絡ください。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社など）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。この研究課題を実施する関係者には、アストラゼネカ、武田薬品工業、第一三共、大塚製薬、エーザイより講演料の受け入れがありますが、これらの企業は本研究課題には直接関係無く、利益相反はございません。

本研究の調査期間は、2017年4月24日（倫理審査承認日）から2019年3月31日までの予定です。

何かご不明なことがありましたらいつでも遠慮なく下記の問い合わせ先にお知らせください。

問い合わせ先：副センター長 井上和彦

電子メール：inoueki@junpukai.or.jp

TEL 086-226-2666

FAX 086-226-0370